

教育コミュニティづくり通信

平成 30 年 8 月 6 日

平成 30 年 8 月 6 日、河内長野市立小山田小学校で行われた「夏休み工作教室」を見学しました。7 年目を迎える人気の取組みで、たくさんの地域の大人が関わっておられるのが大きな特徴です。

たくさんの地域の大人が関わる工作教室

参加希望者が多いため、高学年と低学年に分けて 2 日間行います。当日は、高学年の活動を見学しました。今回は「手作りゲーム」「モバイル」「皮ひもで作るミサンガ風ブレスレッド」の 3 つのメニューから子どもたちが事前に希望したものを作りました。

この工作教室の大きな特徴は、子どもたちに関わる地域の大人の多さです。1 つのテーブルに複数の大人が関わり、子どもたちをサポートしていました。



細やかな配慮で教室を運営

「誰もが工作教室に参加できるように」と、材料や準備物は全て地域の方が用意して下さいます。

「小山田のモットーは、あまりお金をかけないこと」と笑っておられましたが、みなさんで、1 年間かけて材料を揃えます。山へ行って竹を切ってきてくださったり、皮ひもを無償で提供いただいたり…、今回特に苦労されたのは手作りゲームに使う「丈夫で適当な大きさの箱」。各自、家から贈り物の箱やお菓子の箱などを探してきて、1

年かけて持ち寄ったそうです。「今では、何を見ても『これは工作教室で使えるのでは！？』とってしまいます」とおっしゃっていました。



地域の様々な団体が協力する体制づくり

学校運営協議会をはじめ、まちづくり会、福祉委員会、青少年健全育成会、青少年指導員等、校区内の様々な団体が「小山田の子どもたちのために」との想いを共有し、一緒に工作教室に関わっておられます。

同じ人が様々な団体に所属しているという話をよく聞きますが、そのことを利用して、コーディネーターの方が出席する様々な団体の会議で、学校のことや子どもたちのこと、取組みのこと等を発信されたところ、どんどん輪が広がっていったそうです。昨年度から新たに学習教室に取り組むなど、活動も広がっています。

地域の方が学校の授業に参画

小山田小学校では、地域の方々が参画する授業が 3 つあります。子どもの学びが深まるとともに、地域の方も楽しみにしておられ、今年をお願いをする前から既にご自身の予定に入れておられる方もいらっしゃるそうです。

- 「芋掘り体験」(1 年生) …地域の方が子どもたちのために畑で芋を育て、子どもたちは収穫の体験をさせていただいています。
- 「交流授業」(2 年生) …交流活動後、お弁当持参で子どもたちと一緒にお昼ごはんを食べるのが、地域の方にとっても好評です。
- 「地域の方への Q & A」(5 年生) …子どもたちが地域の方へ質問して、地域のことや昔のことについて教えてもらいます。